

政策シート

(政策名) 消防団の防災体制の充実

(予算費目名) 消防団費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり

◇政策の概要

地域の火災等の災害に迅速・柔軟に対応できる消防団の防災体制の充実に向け、消防団施設の建設に係る準備や維持管理及び消防団員の活動の安全性を向上させる装備等の拡充並びに活動環境の向上を図る。

◇関連するSDGsのゴール

①貧困	⑪都市	⑬気候変動							
-----	-----	-------	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	482,151	475,040				
決算	464,003					
人件費(A)	42,200	42,200				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	506,203	517,240				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
公務災害発生件数の改善率(過去5年の最多発生件数9件からの改善率)	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	55.6					
消防団員の充足率	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	96.7					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

地域の火災等の災害に迅速・柔軟に対応できる消防団の防災体制の充実に向け、消防団施設の建設に係る準備や維持管理及び消防団員の活動の安全性を向上させる装備等の拡充並びに活動環境の向上を図る。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	遅れている
<ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練や研修を実施し公務災害の防止に努めたものの、4件の公務災害が発生した。 ・ 勤労者を対象としたイベント等におけるPRブースの出展や公式インスタグラム等での情報発信等、消防団員加入推進事業を実施した結果、充足率については概ね目標を達成している。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	消防団活動事業				○	285,781	278,781	1.0				
2	消防団施設運営事業				○	65,746	60,146	0.8				
3	消防団員福利厚生事業					130,890	125,290	0.8				
4	消防団運営経費					34,823	10,823	2.4	2.0			
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						517,240	475,040	5.0	2.0			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 消防団活動事業

◇事業目的・事業対象

消防団活動に対し、必要な費用の支出や被服の貸与を行い、消防団員の安全な活動を推進するとともに、消防団員の士気高揚と活動への市民の理解を深めることを目的とする。

◇事業の概要

- ・消防団員出動等活動事業
消防団員の災害出動等の活動に対し費用弁償を行う。
- ・消防団運営管理等交付事業(交付金)
消防団の円滑な運営管理を図るため消防団に対し、運営に要する経費を交付する。
- ・消防団員被服整備事業
消防団員の活動上必要な被服及び付属品を消防団の基準に基づき貸与し、消防団員の活動の安全性向上を図る。
- ・出初式開催事業
新年の消防演習として、消防装備、訓練等を市民に披露することで、消防活動及び防火防災についての理解を得るとともに消防職員及び消防団員の士気高揚を図るため、消防出初式を挙げるもの
また、式典にて優良な消防分団及び消防団員に対し表彰を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S23	-	一般会計	自治事務(法令義務)	消防団に関する条例	-	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	279,808	278,781				
	決算	263,813					
	国・県支出	11,282	12,072				
	市債						
	その他	84	76				
	一般財源	252,447	266,633				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		7,000	7,000				
人工	正規	1.0	1.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 1.5	⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.5
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

消防団員の安全な活動を推進するとともに、市民の防火防災に対する理解を深めることで、災害による被害の軽減を図る。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
公務災害発生件数の改善率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	44.5	55.6					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
消防団員の充足率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	97.6	96.7					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・消防団員出動等活動事業
消防団員の災害出動等の活動に対し費用弁償を行う。
- ・消防団運営管理等交付事業(交付金)
消防団の円滑な運営管理を図るため消防団に対し、運営に要する経費を交付する。
- ・消防団員被服整備事業
消防団員の活動上必要な被服及び付属品を消防団の基準に基づき貸与し、消防団員の活動の安全性向上を図る。
- ・出初式開催事業
新年の消防演習として、消防装備、訓練等を市民に披露することで、消防活動及び防火防災についての理解を得るとともに消防職員及び消防団員の士気高揚を図るため、消防出初式を挙げるもの
また、式典にて優良な消防分団及び消防団員に対し表彰を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・訓練や研修を実施し公務災害防止に努めたものの、4件の公務災害が発生した。
- ・災害出動及び訓練出動した消防団員に対し、費用弁償を適正に支給した。
- ・各支団、分団等に対し交付金を交付し、円滑な消防団運営を図った。交付対象: 団本部×1、ラッパ隊×1、支団本部×7、分団×77
- ・消防団員の活動の安全性向上のため、新基準の活動服をはじめ各種装備を配備の基準に基づき整備した。
- ・出初式を開催し、市民に対し消防の現勢を披露し理解を得るとともに、消防職団員の士気高揚を図った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・安全管理に関する集合研修の開催や新たな場における消防団員加入広報を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・引き続き、公務災害の発生防止に資する研修を実施することや公務災害事例の個別の原因分析や団員全体への再発防止に係る情報の共有化をさらに徹底することにより公務災害ゼロを目指すとともに、さらなる消防団員加入広報事業を展開していく。

事業シート (事業名) 消防団施設運営事業

◇事業目的・事業対象

老朽化や耐震性の劣る分団庁舎の建替えや改修を行うとともに、消防団活動用の資機材整備を行い、地域の消防防災拠点として充実強化を図ることを目的とする。

◇事業の概要

- ・消防団施設維持管理事業
消防団施設を適切に維持管理し、災害発生時の即時対応体制を保持する。
- ・消防団庁舎整備事業
消防団施設の老朽化や耐震性能不足を解消するため、計画的に改修・改築工事を実施し、地域防災拠点としての整備及び施設環境の改善を図る。
- ・消防団資機材整備事業
消防団活動上必要な資機材等を更新する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S23	-	一般会計	自治事務(法令義務)	消防組織法	-	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	36,920	60,146				
	決算	36,695					
	国・県支出	5,282	5,673				
	市債	3,800	18,300				
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	27,613	36,173				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		5,600	5,600				
人工	正規	0.8	0.8				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 1.5	⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.5
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

老朽化や耐震性の劣る分団庁舎の整備や資機材の整備を行い、地域の消防防災力の充実強化を図ることで災害による被害の軽減を図る。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
女性消防団員の活動に配慮した消防団施設の数(施設)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	18	18	18	20	20	21	22
実績値	18	18					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
耐震ランクⅢ相当の施設の解消率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	95	95	95	96	96	98	100
実績値	94.2	94.2					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・消防団施設維持管理事業
消防団施設を適切に維持管理し、災害発生時の即時対応体制を保持する。
- ・消防団庁舎整備事業
消防団施設の老朽化や耐震性能不足を解消するため、計画的に改修・改築工事を実施し、地域防災拠点としての整備及び施設環境の改善を図る。
- ・消防団資機材整備事業
消火ホースや救出救助用資機材の整備等、消防団活動上必要な資機材等を更新する。

・事業の成果と課題

- 指標の達成度
- 計画通り
- ・消防団施設維持管理事業
消防分団施設を適切に維持し、災害発生時の即時対応に支障のないよう施設運営を行った。
 - ・消防団庁舎整備事業
老朽化した分団施設の改修を行い、地域防災拠点としての整備及び庁舎環境の改善を図った。
 - ・消防団資機材整備事業
各分団等に対し救出救助用資機材(電動式チェーンソー等)を整備したほか、各分団の消防資機材(消火活動用ホース)を更新した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 改修・更新 / 事業費 拡大 人工 現状

- ・施設維持管理事業、庁舎整備事業による庁舎の改修工事等を行い、地域防災拠点としての機能維持を図った。
- ・消防団資機材整備事業についても、救出救助用資機材の追加整備を行い、地域防災力の強化を図った。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 改修・更新 / 収集・分析 事業費 拡大 人工 現状

- 【改善:改修・更新】・施設維持管理事業、庁舎整備事業による庁舎の改修工事等を行うことで機能強化を図る。
- 【改善:収集・分析】・施設の改修改築、耐震化、借地解消等の問題改善のため、長期的な視野で情報を分析・検討する。また、消防団員の意見を踏まえ、地域防災力の向上に資するため資機材の整備について検討を行う。

事業シート (事業名) 消防団員福利厚生事業

◇事業目的・事業対象

地域防災の要である消防団員の福利厚生制度の拡充を図るとともに、消防団員等の公務災害に対応し、十分な補償を確保し職務に専念できるようにすることを目的とする。

◇事業の概要

- ・消防団員退職報償金支給事業
退職した消防団員に対し、階級及び勤務年数に応じた退職報償金を支給する。
- ・消防団員等賞じゅつ金等支給事業
災害活動において死亡した消防団員と遺族に対する賞じゅつ金及び休業補償支給者のうち7日以上休業した消防団員に対して見舞金を支払う。
- ・消防団員等公務災害補償等共済事業
消防団員の福利厚生を図るとともに、消防団員等の公務災害に対し、十分な補償を確保する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S30	-	一般会計	自治事務(法令義務)	浜松市消防団員等公務災害補償条例他	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	155,126	125,290				
	決算	154,423					
	国・県支出						
	市債						
	その他	82,442	54,140				
人件費(報酬等)(千円)	一般財源	71,981	71,150				
	一般会計繰入金						
人件費(千円)		5,600	5,600				
人工	正規	0.8	0.8				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 1.5	⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.5
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

消防団員の福利厚生の充実を図り、職務に専念できる環境を構築し、消防防災力を強化することで、災害による被害の軽減を図る。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
消防団協力事業所数(事業所)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	120	120	130	130	140
実績値	93	115					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ・消防団員退職報償金支給事業
退職した消防団員に対し、階級及び勤務年数に応じた退職報償金を支給する。
- ・消防団員等賞じゅつ金等支給事業
消防団員の福利厚生を図るとともに、消防団員等の公務災害に対し、十分な補償を確保する。
- ・消防団員等公務災害補償等共済事業
消防団員の福利厚生を図るとともに、消防団員等の公務災害に対し、十分な補償を確保する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・広報の展開により地域企業等の消防団に対する理解等が促進し、消防団協力事業所数は目標値を上回る増加となった。
- ・消防団員退職報償金支給事業
退団した消防団員に対し、階級及び勤務年数に応じた退職報償金を支給した。
- ・消防団員等賞じゅつ金等支給事業
賞じゅつ金及び見舞金の支給対象となる事案の発生はなかった。
- ・消防団員等公務災害補償等共済事業
日本消防協会消防団員福祉共済に継続して加入した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ 消防団協力事業所表示制度についての広報活動を実施した。
- ・ 退団した消防団員への退職報償金の支給を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ 消防団員の活動環境の向上のため、消防団協力事業所表示制度を継続していく。
- ・ 消防団員の福利厚生事業は、消防団員が憂いなく災害活動を行うための制度であり、今後も継続していく。

事業シート (事業名) 消防団運営経費

◇事業目的・事業対象

継続的な消防団運営体制の確保のため、従来の働き盛り世代の男性のみならず女性や若者に対する加入促進活動を展開し消防団員数の充実を図る。消耗品の購入(装備品等)、郵便料等に係る経費を確保し、円滑な活動を行うことを目的とする。

◇事業の概要

将来にわたる継続的な消防団運営体制の確保のため、消防団員加入促進活動を実施する。特に、従来の働き盛り世代の男性のみならず、女性や若者に対する加入促進活動も展開する。
また、消防団の運営に必要な消耗品の購入等を行う。
・消防団活動に必要な消耗品等の購入に係る経費
 装備品等の購入
・静岡県消防協会西遠支部負担金
 県下消防団が連携し消防知識技術の向上を図り、消防活動の充実強化等を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S23	-	一般会計	自治事務(法令事務)	浜松市消防団に関する条例	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	10,297	10,823				
	決算	9,072					
	国・県支出		5,000				
	市債						
	その他						
	一般財源	9,072	5,823				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		24,000	24,000				
人工	正規	2.4	2.4				
	再任用(h31)	2.0	2.0				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 1.5	⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.5
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	○ 13.1
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

継続的に消防団運営体制を確保するとともに消防団組織の充実を図ることで、消防防災力を強化し、災害による被害の軽減を図る。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
女性消防団員数(人)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	45	45	45	50	55	60	70
実績値	36	39					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

将来にわたる継続的な消防団運営体制の確保のため、消防団員加入促進活動を実施する。特に、従来の働き盛り世代の男性のみならず、女性や若者に対する加入促進活動も展開する。

また、消防団の運営に必要な消耗品の購入等を行う。

・消防団活動に必要な消耗品等の購入に係る経費

・装備品等の購入

・静岡県消防協会西遠支部負担金

・県下消防団が連携し消防知識技術の向上を図り、消防活動の充実強化等を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

・女性消防団員数は3名の増員となったものの目標値には達しなかった。

・静岡県消防協会西遠支部負担金については、同団体が主催する研修会等への参加を通じて、消防団員が消防技術等を習得・習熟し、もって浜松市の災害対応能力の向上を図った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・公式Instagram等のSNSでの情報発信や、勤労者を対象としたイベント会場等における広報活動を行ったものの、十分な即効性は表れてはいない。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・女性や若者を対象とした消防団への入団促進を引き続き展開していくほか、市民の消防団に対する認識を調査分析を深めていく。